

平成30年度家庭教育オピニオンリーダー研修⑥ 実施報告

実施日：平成30年10月31日（水）

○講話・演習：「カウンセリングマインドを生かした相談の在り方」①②

講師：栃木県総合教育センター 教育相談部 副主幹 佐山 功
指導主事 飯村伸子



今回の研修は、当センターの教育相談部、佐山副主幹と飯村指導主事による、カウンセリングマインドを生かした相談のあり方について学びました。

佐山副主幹の講話では、なぜカウンセリングマインドが必要なのかということから始まり、聞き手に必要な基本的な態度や聞く時のポイントなどを具体的な例とともに、詳しく説明していただきました。「相手を100%理解することは難しいが、できるだけ理解しようとするのが、相手との信頼関係を築くことにつながる」という言葉が印象的でした。

飯村指導主事の演習では、受講者同士の気持ちの距離感を縮める「全員とあいさつ」「バースデライン」から始まり、2人組になって自己紹介や最近気になっていることなどを伝え合うことを通して、話す順番や感情を意識した聞き方、話し方を体験しました。相手の話を聞くときは「知…考えていること」「情…感情」「意…やりたいこと」を分かろうとすることが大切であることを学びました。

一日、じっくり時間をかけたことにより、「話を聴く」ことの大切さを実感できた有意義な研修となりました。



【受講者の感想より】

- ・話すことはできても聞くことは難しい。今日のワークを日頃の生活に役立てたいと思います。
- ・会話中に相手の気持ちを考えるだけでなく、自分自身の気持ちについて考えると（相手に巻き込まれているなど）よいということは、新しい学びでした。
- ・「聞き上手は話さない」とあったが、どうしても相づちをうち何か話をしてしまうので、難しいと感じた。話の途中で話し手から話題を取らないように気をつけたいと思います。
- ・カウンセリングで大切なことは、話す、聞くの相互作用（理解）が大切であることを、演習を通して学ぶことができました。

研修内容の詳細に関するお問い合わせは栃木県総合教育センター生涯学習部まで

TEL:028-665-7206

E-mail: shogai-c@tochigi-edu.ed.jp

